

～2030年に釜山で何が？～

下関市総合政策部国際課
(釜山広域市派遣職員)
渡邊 繁

アンニョンハセヨ！

みなさん、2030年の韓国と聞いて何をイメージしますか？私の派遣先である釜山市でこの質問をすると、ほとんどの市民から同じ答えが返ってきます。それは、今、釜山市で積極的に誘致活動を行っている「2030釜山国際博覧会(釜山エキスポ)」です。今号ではそんな大注目の釜山エキスポの誘致についてお話ししたいと思います。

国際博覧会(エキスポ)とは、国際博覧会条約に基づき複数の国が参加して開催される博覧会のことです。日本ではその略称である「万博」の方が馴染み深いかもかもしれません。国際博覧会は「登録博覧会(開催期間6ヶ月)」と「認定博覧会(開催期間3ヶ月)」に区分され、それぞれ期間以外にも、開催間隔、会場面積、テーマが定められています。日本での登録博覧会は、直近では2005年に愛知で開催されており、2025年にも大阪での開催が予定されています。国際博覧会は5年ごとに、世界各国が技術や文化の成果を展示する目的で行われ、オリンピック、サッカーワールドカップと並ぶ世界三大国際イベントに位置づけられています。

突然ですが今号のクイズです。これまで世界三大国際イベントをすべて開催した国は6ヶ国あります。どこかわかりますか？クイズの正解は最後に発表します。

さて、韓国ではこれまで認定博覧会は2度開催されましたが、登録博覧会は開催実績がありません。開催されれば釜山エキスポは韓国初の登録博覧会になることから、これまで釜山市は誘致にあたり積極的な広報PRや署名活動を行ってきました。新型コロナウイルスの世界的な流行、気候・環境変動、社会の二極化など人類が直面している地球規模の問題を解決するためには、大きな転換が必要であるとの認識のもと、釜山エキスポでは「世界の大転換、より良い未来に向かう航路」をテーマとして掲げています。開催期間は2030年5月1日から6ヶ月で、北港と呼ばれる釜山港の北側周辺が万博会場の候補地です。気になる招致レースですが、釜山市以外にもモスクワ(ロシア)、ローマ(イタリア)、オデッサ(ウクライナ)、リアド(サウジアラビア)が立候補しています。

今後誘致に伴う PR がますます活発になることが予想されますが、昨年、韓国ドラマ「イカゲーム」で主人公ソン・ギフンを演じた俳優のイ・ジョンジェ氏が釜山エキスポの第 1 号広報大使に任命されました。釜山市はイ氏を起用したホームページ、SNS で釜山エキスポを世界へ発信し、誘致を有利に進める考えです。また、釜山市内の公共交通機関にイ氏のポスターを掲示し、博覧会に対するさらなる市民の期待感を高め、誘致への機運を高める戦略です。

2023 年 6 月の国際博覧会事務局総会で 2030 年の国際博覧会の開催地が決まります。私も下関市の姉妹都市である釜山市に決定することを期待しています。そして、広報大使サポーター（自称）として今後も釜山エキスポに注目しつつ、情報拡散のお手伝いをしていきたいと思えます。

お待たせしました。最後にクイズの正解です!!世界三大国際イベントをすべて開催した国は、フランス、アメリカ、カナダ、日本、ドイツ、イタリアの 6 ヶ国です。あなたはいくつ正解できましたか?では、また次号をお楽しみに。アンニョン!!



釜山エキスポ 2030 ロゴ



広報大使 PR